

令和3年第3回市議会定例会

市長提案理由

(令和3年8月31日提案)

令和3年第3回市議会定例会の開会に当たり、提案理由の説明に先立ちまして、姉妹都市である静岡県熱海市で7月3日に発生した土石流災害により、犠牲となられた方々とその御遺族に対し、哀悼の意を表するとともに、被災された皆様の一日も早い生活再建と復旧・復興を心からお祈り申し上げます。義援金箱の設置やふるさと納税の代理受納、見舞金の送付など、できる限りの支援に取り組むとともに、この災害を甚大化させた原因の一つといわれる上流部の盛土に関して、大分県とも連携しながら、調査及び安全性の確認を行い、防災に備えます。

新型コロナウイルス感染症は、依然として拡大傾向にありますが、今年は2年ぶりに全国高校野球選手権大会が開幕し、明豊高等学校が春夏連続出場の快挙を成し遂げました。また、1年遅れで開催された東京2020オリンピックは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最大限の対策を実施しながらの開催となりました。別府市で予定されていた事前合宿は中止となりましたが、過去に別府市でキャンプをしたチェコのクルパーレク選手が、柔道男子100キロ超級で金メダルを獲得しました。また、フェンシング女子では、別府市出身の上野優佳選手がフルーレ団体、フルーレ個人いずれも過去最高となる6位に入賞するなど、別府市に縁のある選手も活躍し、市民の心は高揚感と大きな感動に包まれました。現在開催中の東京2020パラリンピックでも、各選手の活躍を期待しています。

それでは、市政諸般の御報告を申し上げ、併せて今回提出した諸議案の概要について御説明いたします。

6月に旧山の手中学校跡地に開設した別府市PCR検査センターでは、8月29日までにPCR検査、抗原検査合わせて13,000件を超える検査を実施しています。市内の感染状況等を踏まえ、無症状で感染に不安を感じた方が検査を受けられる態勢を引き続き整えておくことで、市内の感染拡大防止に繋げてまいります。

ワクチン接種では、接種を希望する65歳以上の高齢者については7月中に終了し、現在は予定を前倒しして12歳以上の方全員を対象とした接種を行っています。接種希望のある方全員が安全で確実に接種できるよう、ワクチン供給とのバランスを見ながら柔軟に対応していきます。

夏に延期となった成人式は、8月14日にオンラインで開催されました。例年のように懐かしい友達と集まってお祝いすることはかないませんでした。式典やトークセッションをライブ中継で配信するなど、コロナ禍でできる新しいかたちを新成人が企画し、心に残る成人式となりました。

市民生活では、バリアフリーの課題がある箇所の調査に取り掛かっています。当事者目線での課題を把握するため、障がい者関係団体や関係機関と協働で現地調査を実施したほか、道路の破損箇所等を通報できるWEBサービスであるFix My Streetを利用して広く情報収集を行い、課題を整理し、解消に向けた事業計画を立て、障がい者や高齢者、子育て中の方など、だれもが安全に安心して暮らせる共生社会の実現を目指します。

観光・産業関係では、旅先で休暇を取りながら働く「ワーケーション」の候補地としてのPRにも力を入れるため、IT企業と共同でPRサイト「BEPPU YUKEMURI WORKATION」を立ち上げました。このサイトでは、ワーケーションに適した市内の宿泊施設や、誰でも立ち寄り仕事ができるワーキングスペースを紹介し、企業や個人にワーケーションの地としての別府の魅力をアピールしています。コロナ禍により働き方も価値観も多様化してきています。新しい発想や価値を生み出す非日常的な空間を提供し、新たなビジネスと雇用の創出による産業の活性化を図ります。

新図書館等整備事業、亀川地区の市営住宅建替事業、別府海浜砂湯を含む上人家浜公園や春木川公園の整備などの大型事業にも着実に取り組んでいます。市民の安全・安心を継続して確保するため、コロナ対策にもしっかりと取り組みなが

ら、コロナ禍にあっても進めるべき事業は着々と進めていきます。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明いたします。

はじめに、一般会計補正予算ですが、今回補正する額は、8億8,900万円の増額で、補正後の予算額は559億4,470万円となります。

その主なものとして、議会費では、議会運営の効率化を図るため、議会にタブレット端末及びペーパーレス会議システムを導入する経費を計上しています。

総務費では、収束が見えないコロナ禍の状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策として公共施設の消毒作業等に従事している会計年度任用職員の雇用期間を9月末から年度末までに延長する経費の追加額を計上しています。

衛生費では、感染力の強いデルタ株の広がりにより、再びコロナの感染が拡大傾向にあることから、市民の安全・安心を確保するため、旧山の手中学校跡地に開設している別府市PCR検査センターの開設期間を12月末まで延長する経費の追加額を計上しています。

労働費では、公益社団法人別府市シルバー人材センター及び一般財団法人大分県東部勤労者福祉サービスセンターの移転に伴い、移転後の施設を解体するための実施設計等委託料を計上しています。

観光費では、北浜温泉を廃止することに伴う未使用入浴回数券の返金に係る負担金及び鉄輪むし湯の指定管理者に対する新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減収負担金を計上しています。

消防費では、近年、全国各地で自然災害が頻発していることから、本市の防災対策を強化するため、災害時に各避難所へ速やかに物資を輸送できるよう防災用備蓄倉庫を整備することに伴い、当該整備に係る測量設計等委託料を計上しています。

教育費では、児童・生徒の学びを保障する環境を整備するため、臨時休校時等

において、誰もが家庭でタブレット端末を用いてオンライン学習等を行えるよう、家庭に通信環境がない世帯に対し、機器を貸与し、通信料を負担する経費を計上しています。

次に特別会計では、前年度決算確定に伴う繰越金の追加を中心とした補正予算を計上しています。今回の補正額は、7億4,237万3千円の増額で、補正後の特別会計予算の総額は554億6,707万3千円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要です。

次に予算外の議案について、御説明申し上げます。

予算外の議案については、「条例関係5件」、「その他12件」の計17件を提出しています。

議第64号「別府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について」は、条例の規定による正規の勤務時間以外の時間における勤務に関しその時間数の上限その他必要な事項については、規則に委任することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第65号「別府市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について」は、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための作業に従事した職員の特殊勤務手当の特例を定めるため、条例を改正しようとするものです。

議第66号「別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法に基づき条例を定めるに当たり、従うべき基準等を定める内閣府令の一部が改正されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第67号「別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、北浜温泉を廃止することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第68号「別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、亀川地区市営住宅集約建替事業により建設をしていた市営住宅が完成する

ことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第69号及び議第70号の「旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて」は、大分県が実施する境川砂防堰堤事業による用地買収に伴い、対象土地の旧慣を廃止することについて、地方自治法第238条の6第1項の規定により議会の議決を求めるものです。

議第71号「市長専決処分について」は、今後の新型コロナワクチン接種等に対応するため、令和3年度別府市一般会計補正予算（第5号）を地方自治法第179条第1項の規定に基づき、市長において専決処分しましたので、同条第3項の規定により議会に報告し、その承認を求めるものです。

議第72号「令和2年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について」から議第80号「令和2年度別府市公共下水道事業会計決算の認定について」までの9件は、地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定に基づき、令和2年度別府市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算並びに令和2年度別府市水道事業会計及び公共下水道事業会計の決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付すものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。